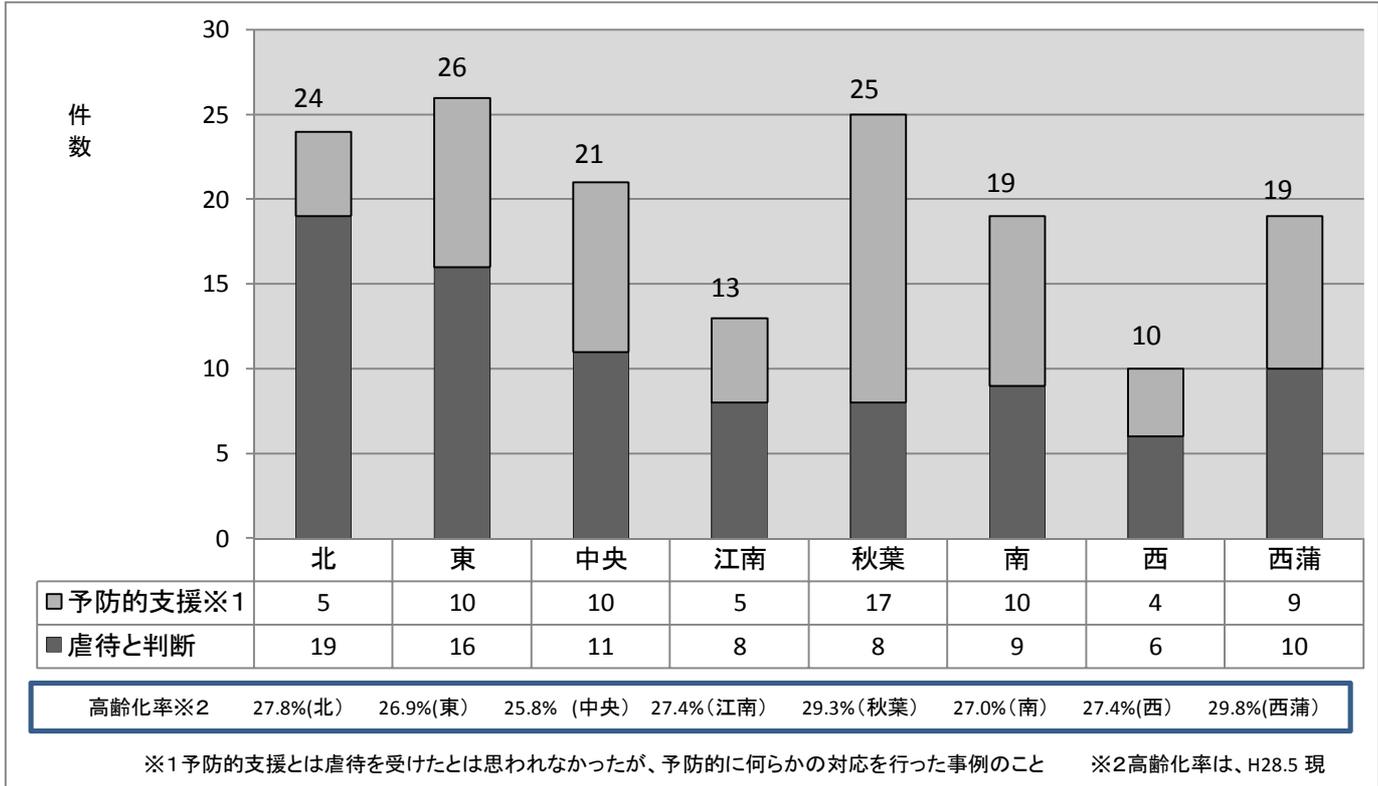


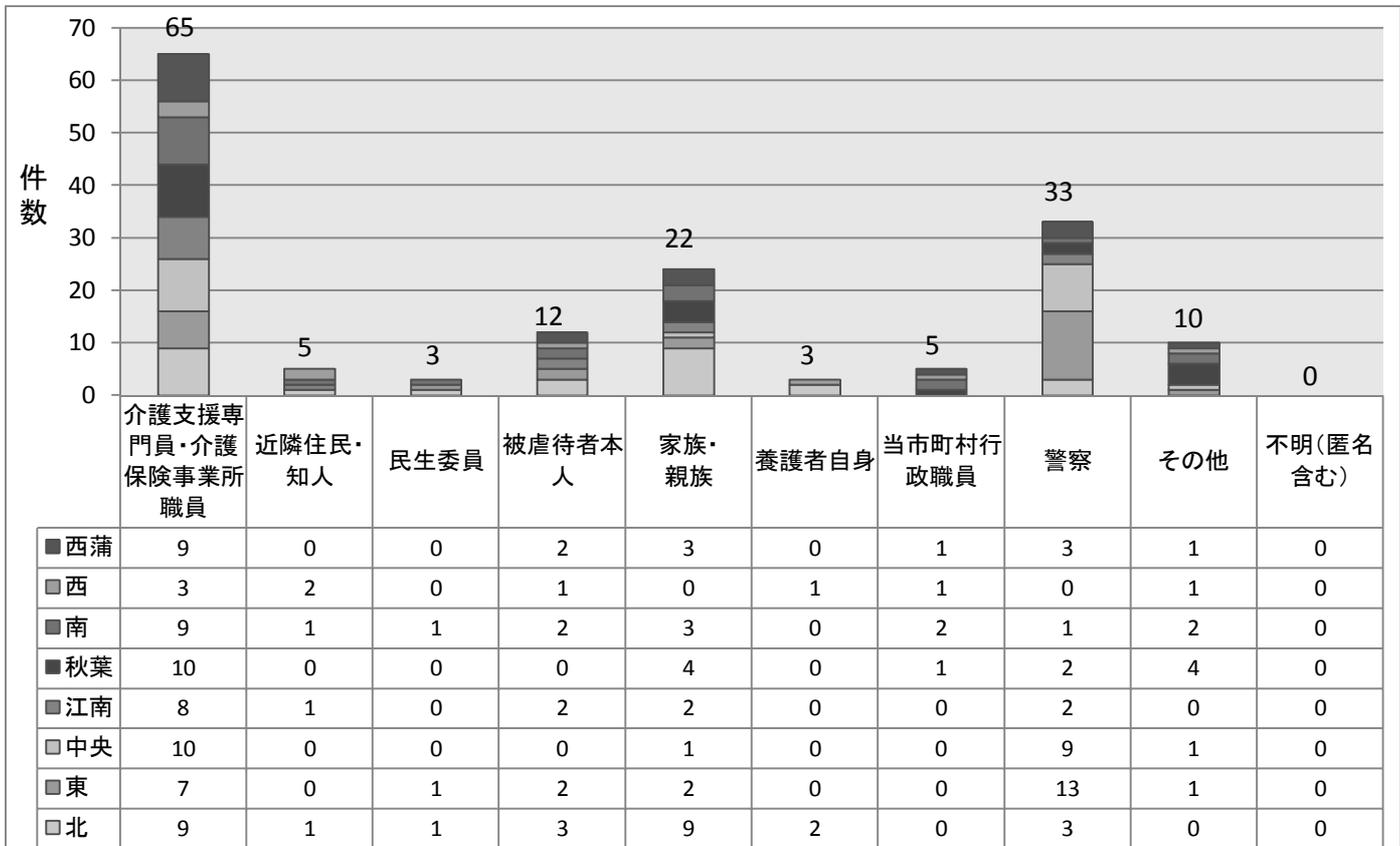
平成27年度
在宅の高齢者虐待に関する新潟市の状況(H28.3.31現在)

資料 1-2

①相談・通報件数及び事実確認の結果 ※前年度に事実確認を実施できず、当概年度に実施した4件含む n=157



②虐待の相談・通報者(複数回答) n=158

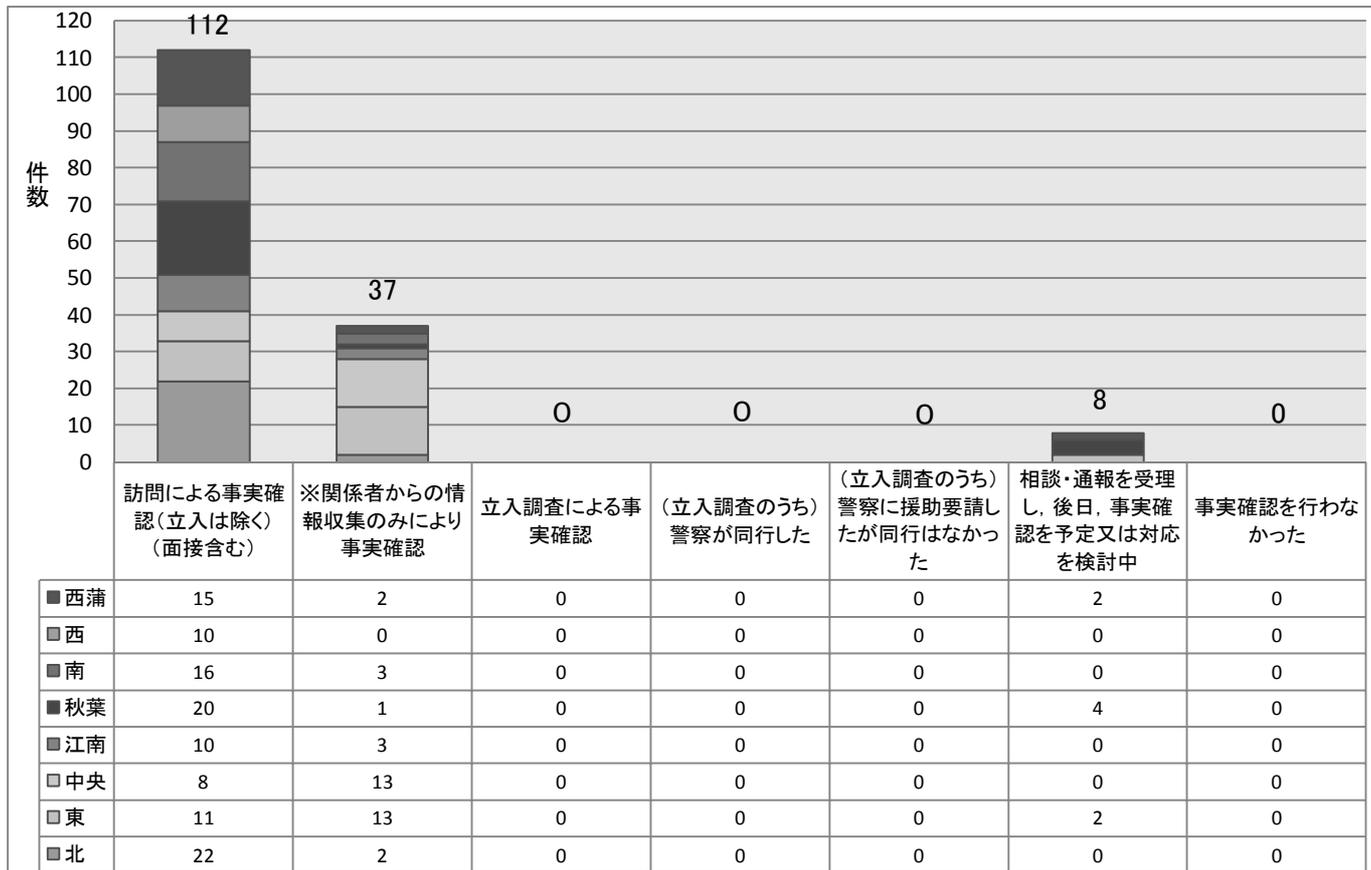


・介護支援専門員、介護職が41.1%と最も多く、次いで警察からの通報20.9%、家族、親族で13.9%となっている。
 ・その他・・・病院相談員、障がい者施設関係者、地域包括支援センター、社会福祉協議会、配食事業者 等

③事実確認の状況

n=157

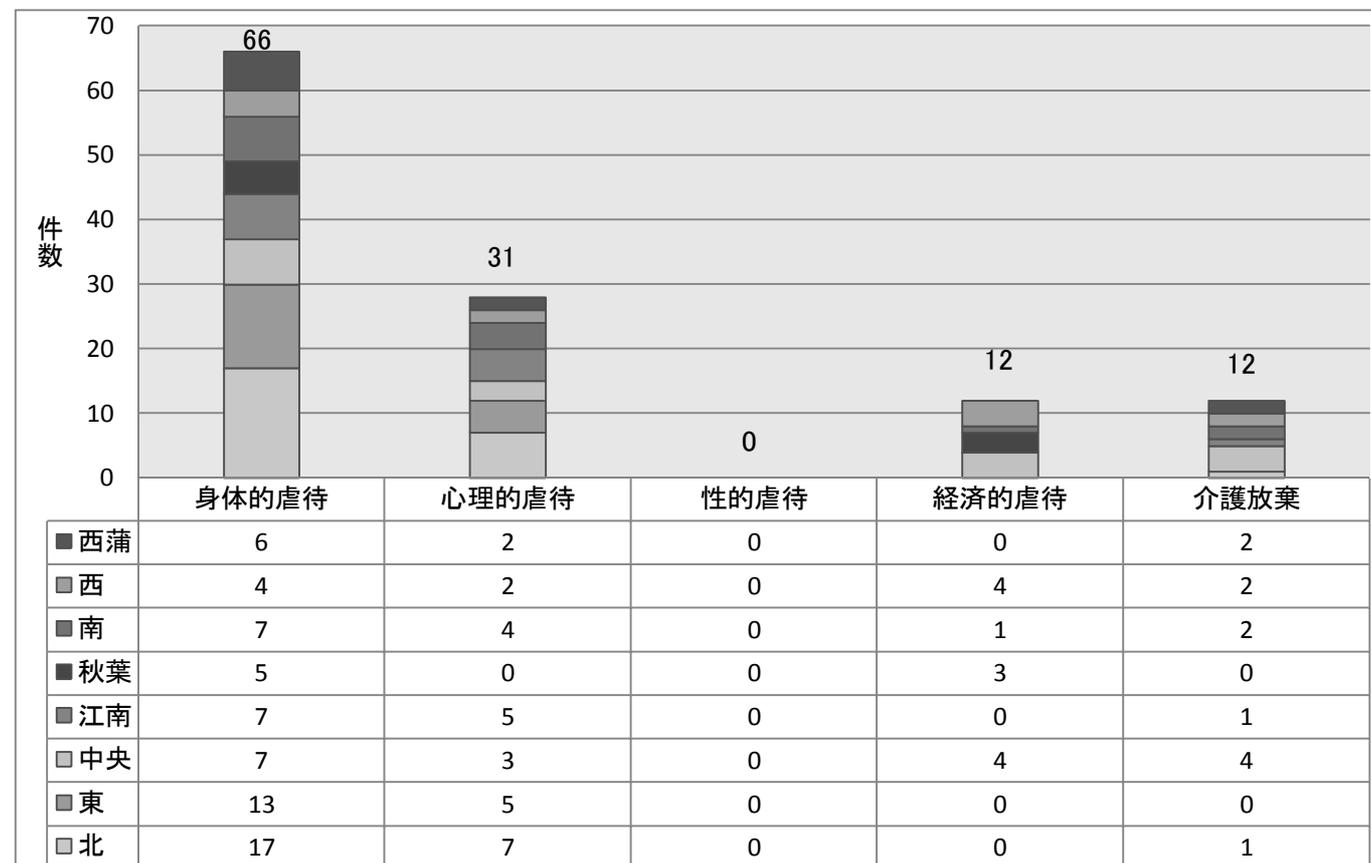
(事実確認を行った事例のうち、次年度に入って事実確認調査を行ったものも含むため合計件数は新規受付件数と一致しない)



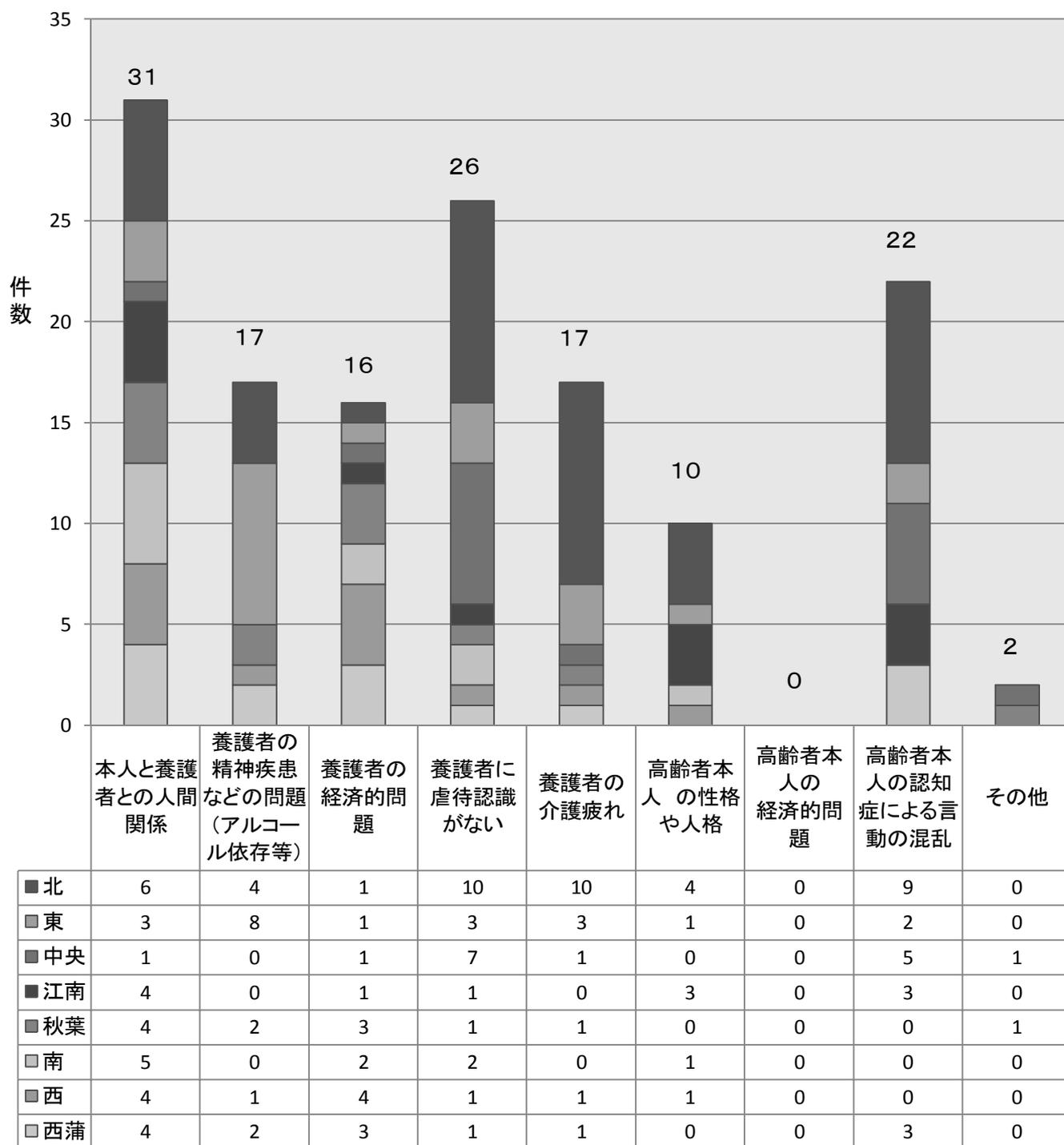
・訪問による事実確認が全体の71.3% ※関係者とはケアマネ・警察等

④虐待種類の内訳(複数回答)

n=121



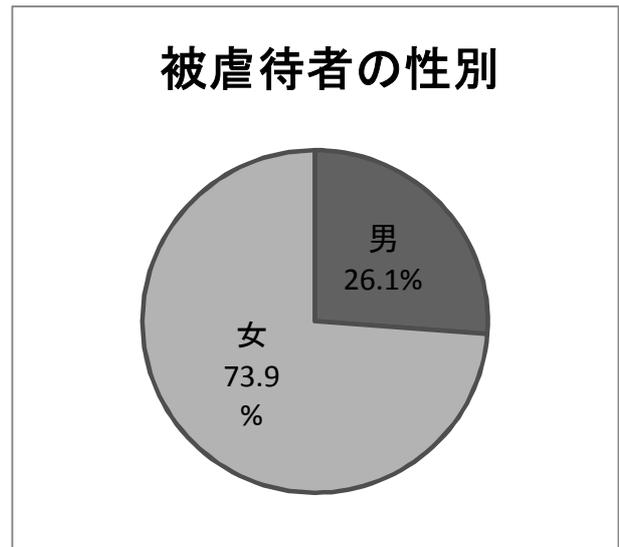
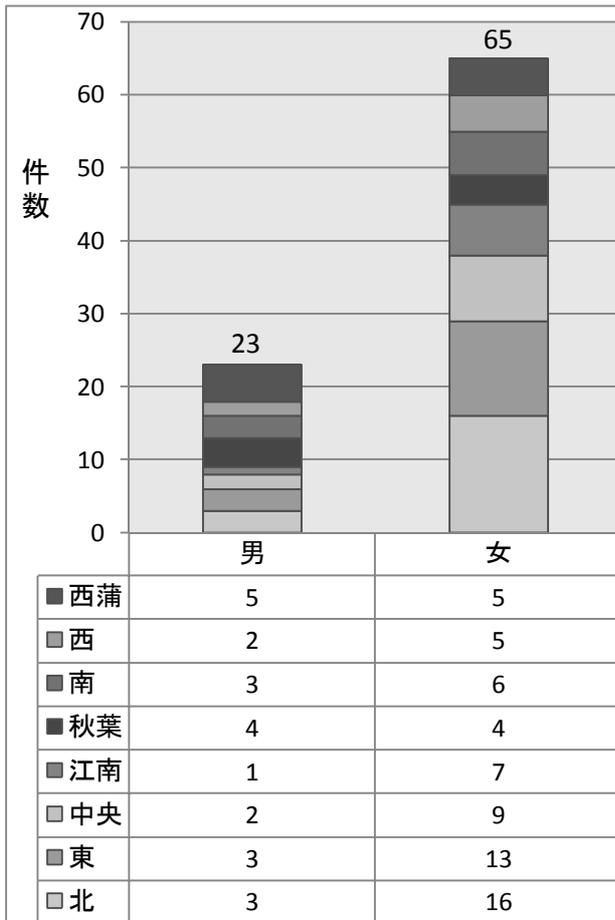
・身体的虐待が54.5%と最も多く、次いで心理的虐待が25.6%



・虐待に及ぶ一番多い理由は、高齢者本人と養護者の人間関係が22.0%、次いで養護者に虐待行為の認識が欠如している18.4%高齢者本人の認知症による言動の混乱 15.6%であった。

・その他・・・ 養護者の人格、介護家族との人間関係

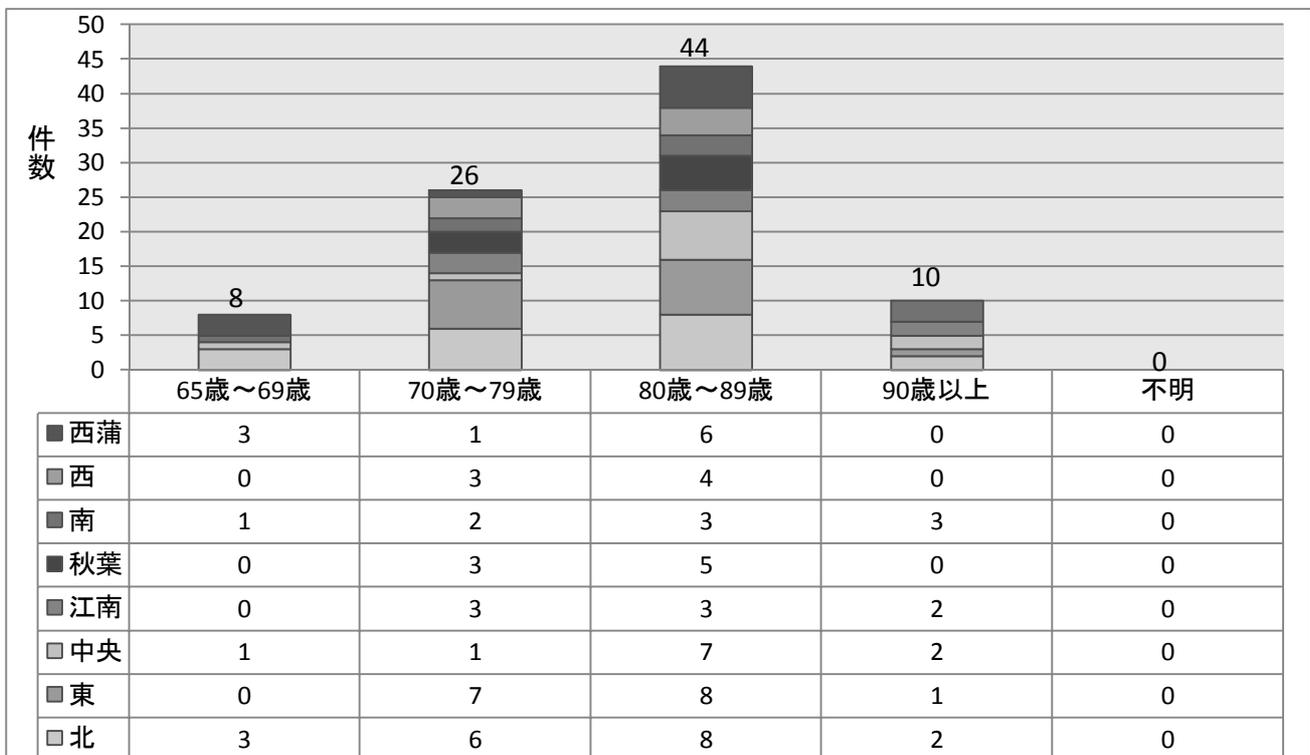
⑥被虐待者の性別 n=88



※ 約7割が女性である。

⑦被虐待者の年齢

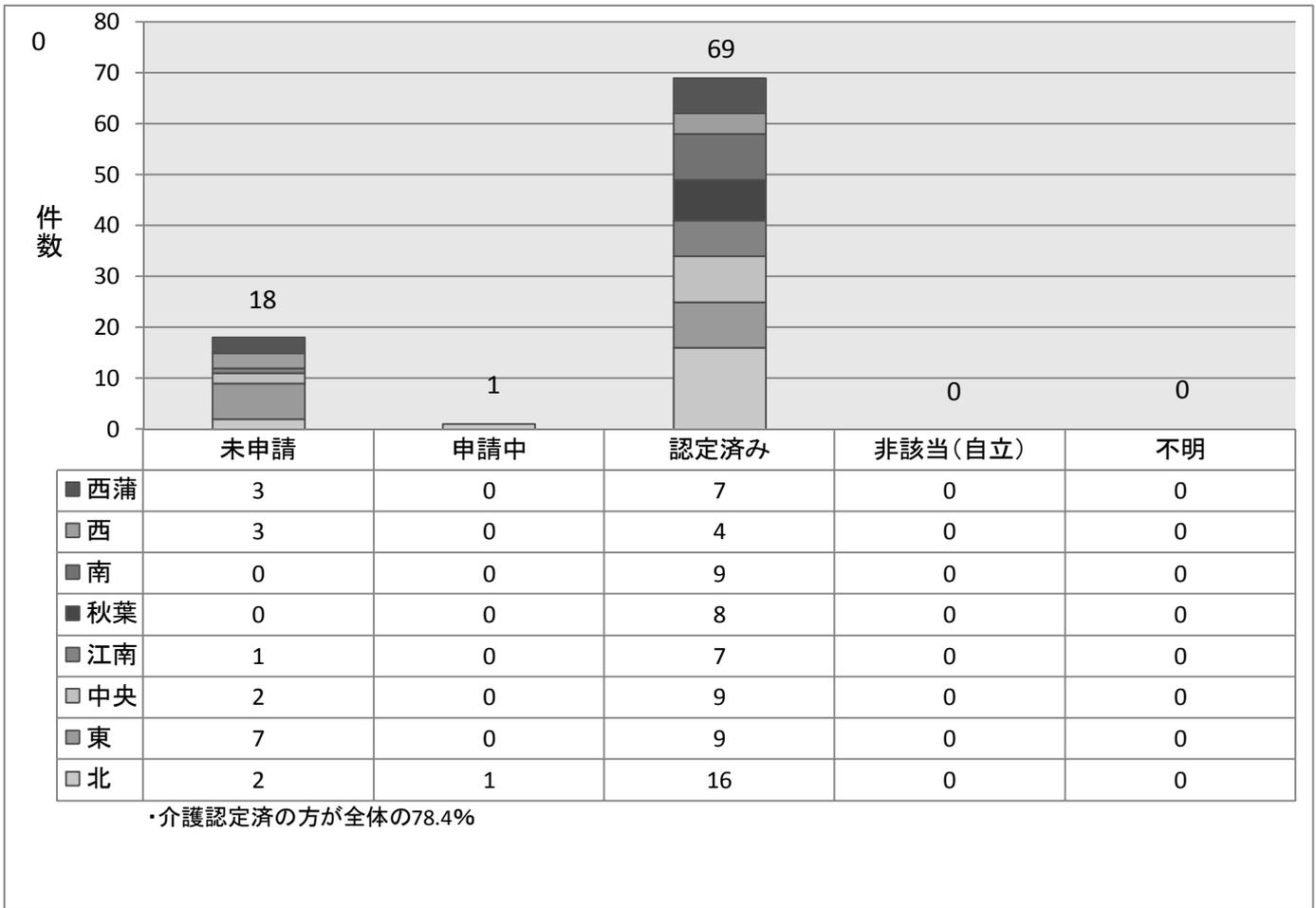
n=88



・80歳代が最も多く50% 次いで70歳代が29.5%

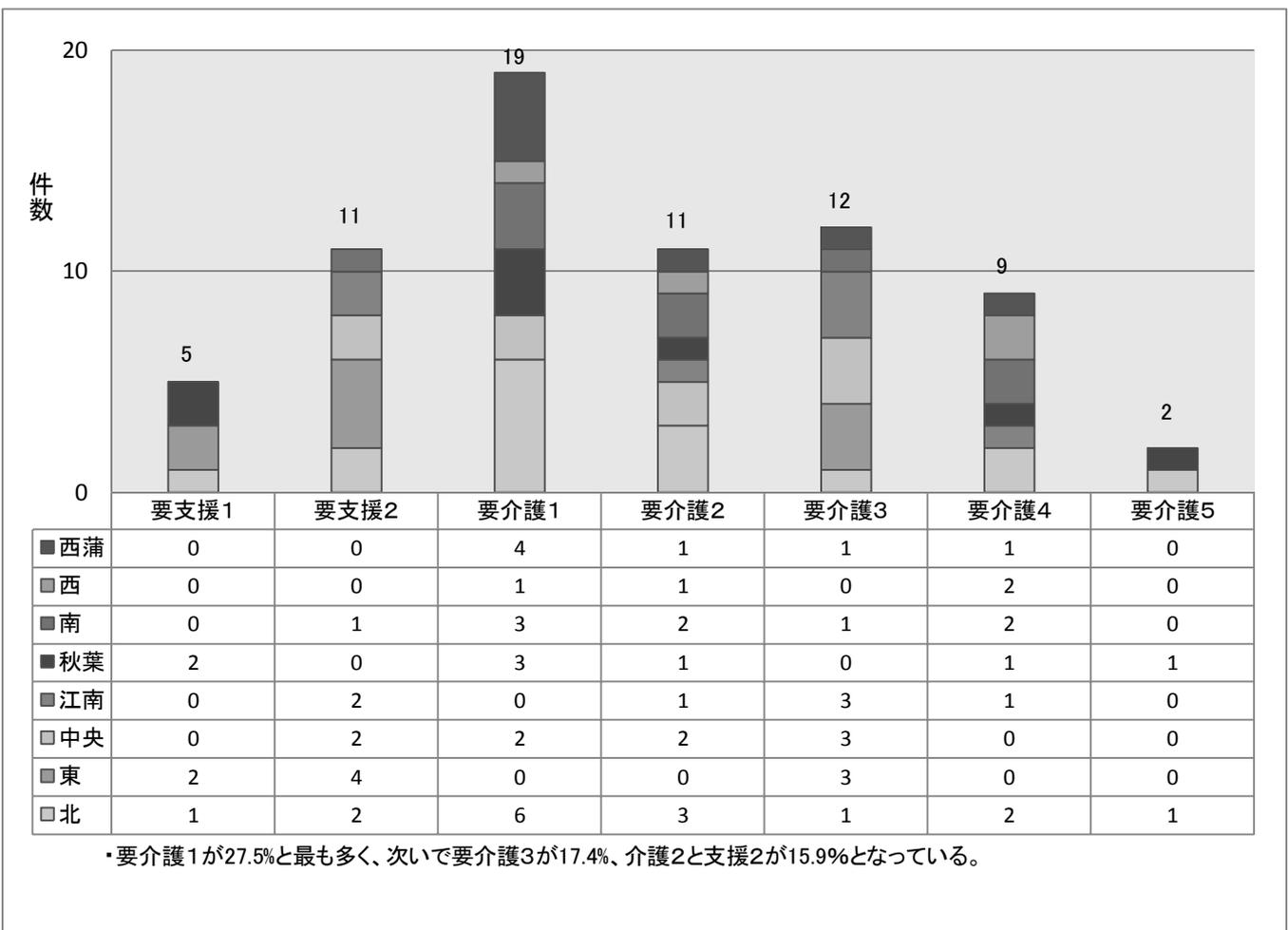
⑧被虐待者の介護認定の有無

n=88



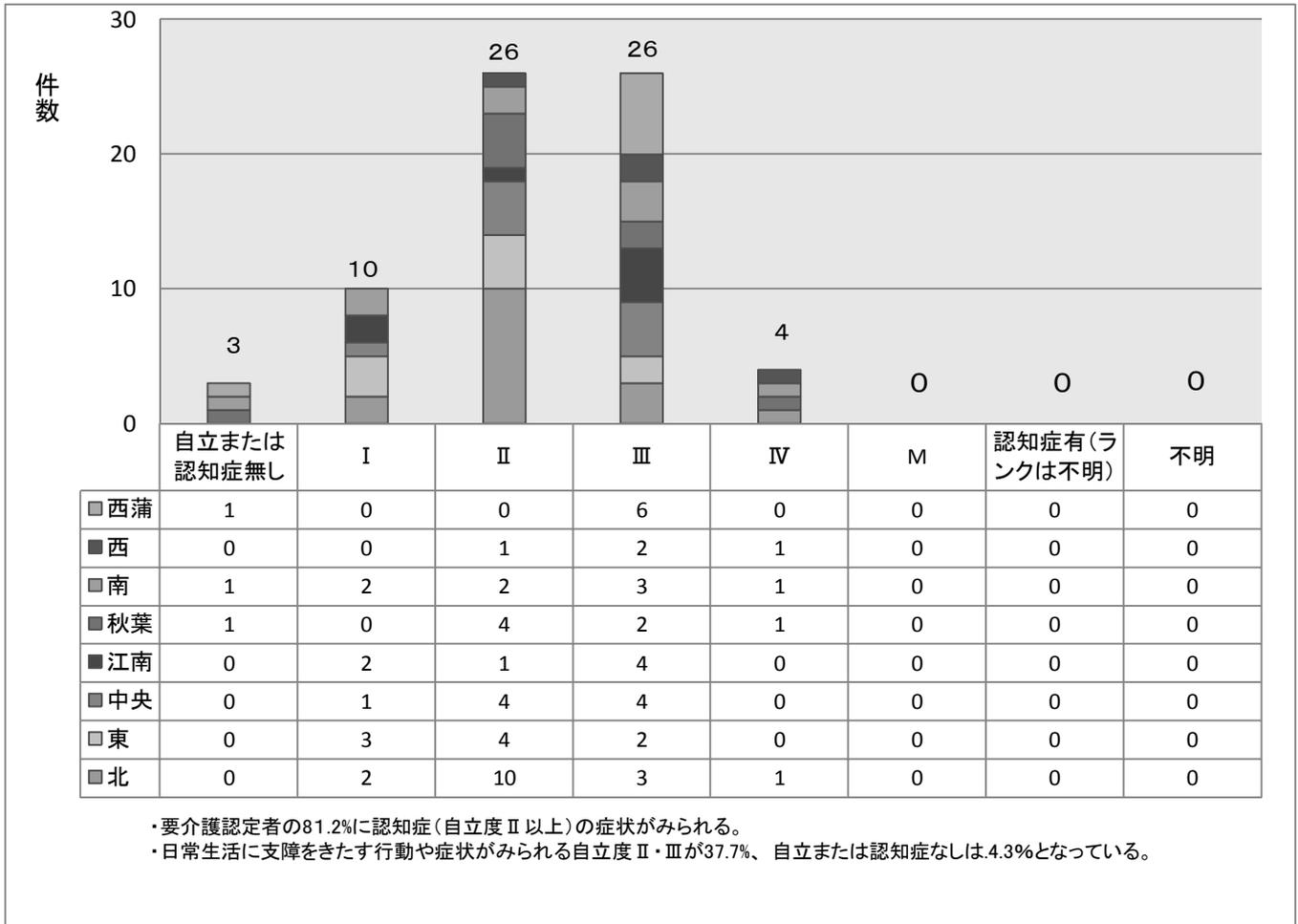
⑨被虐待者の要介護度

n=69



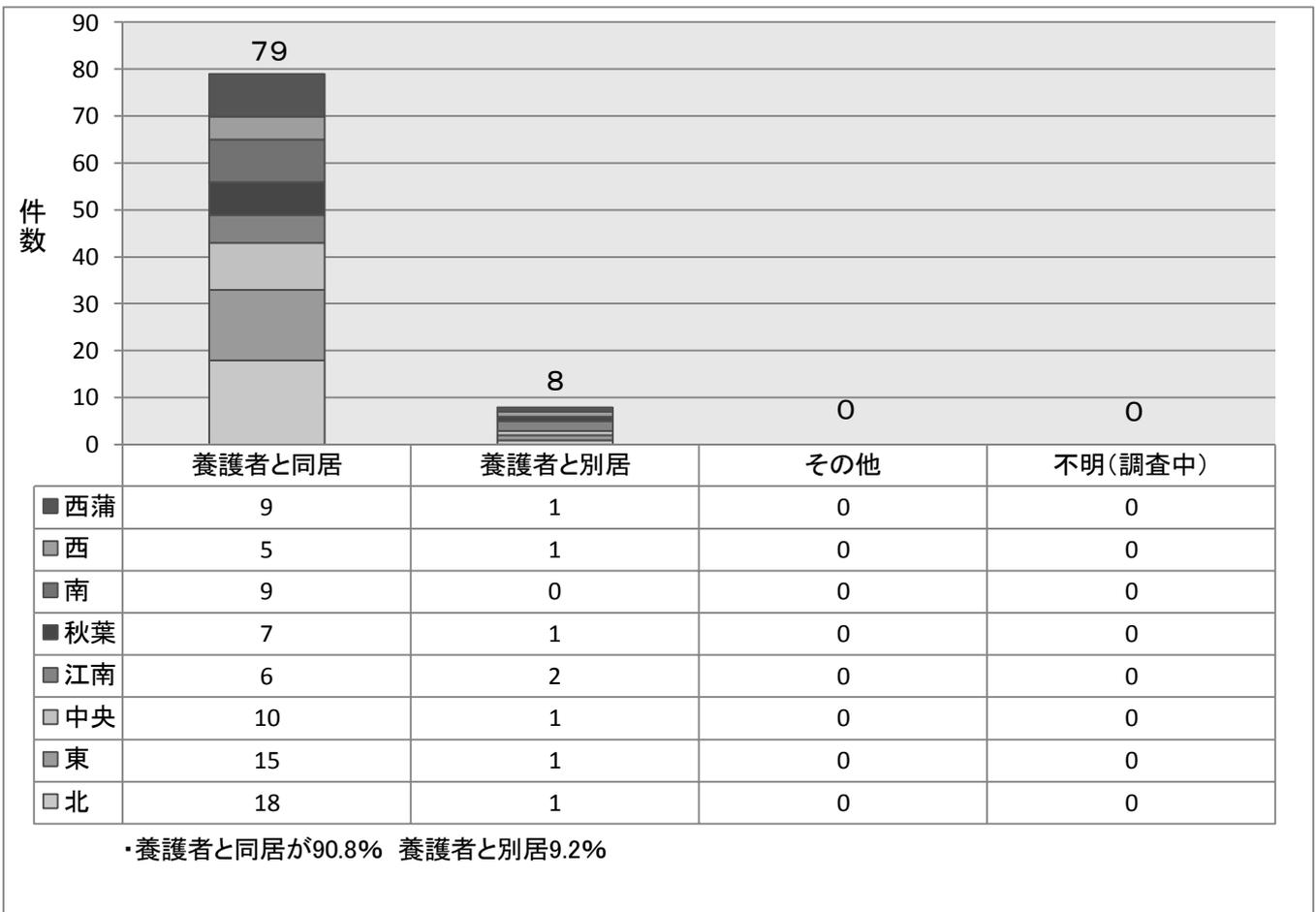
⑩被虐待者の認知症の有無

n=69



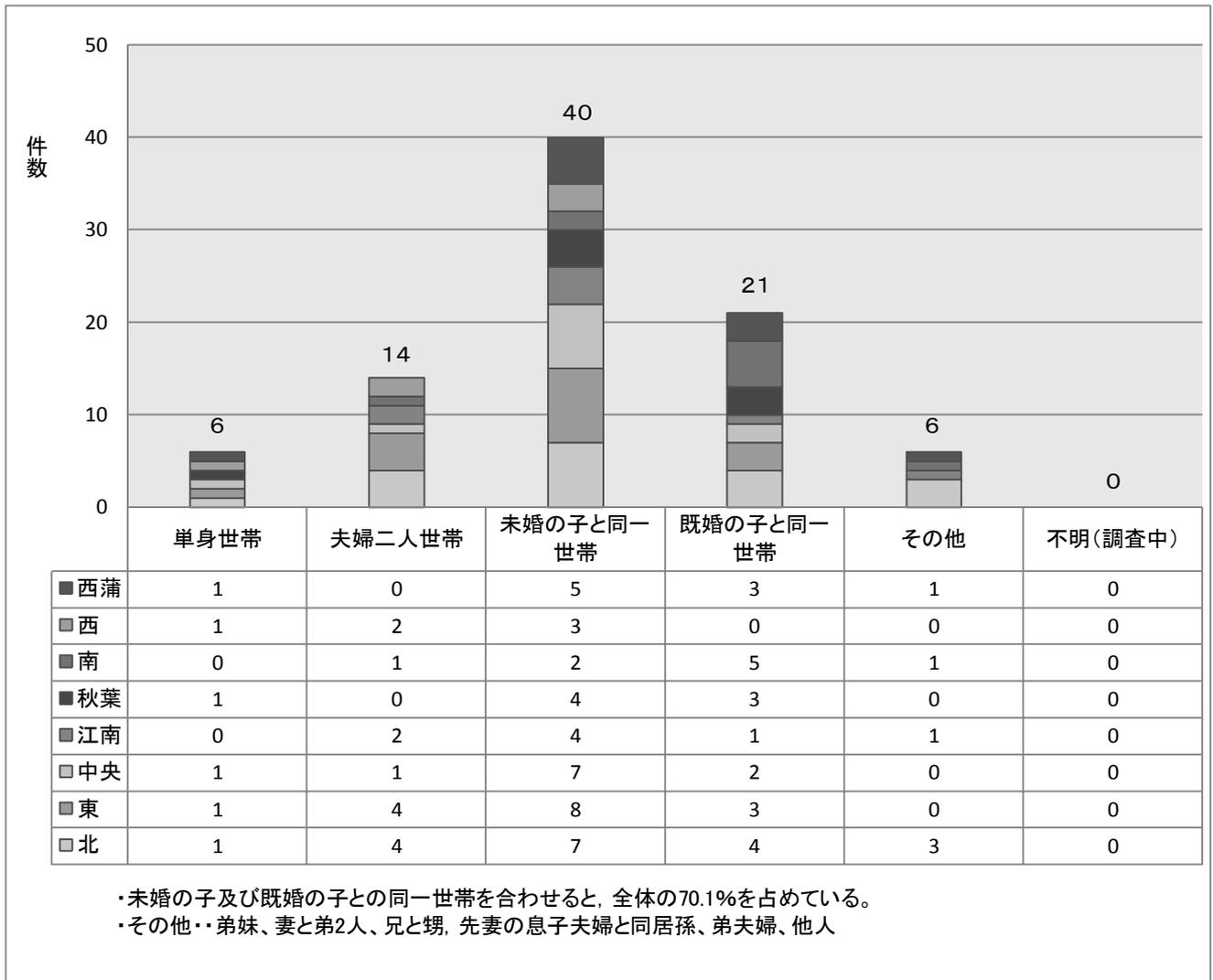
⑪虐待者との居住形態

n=87



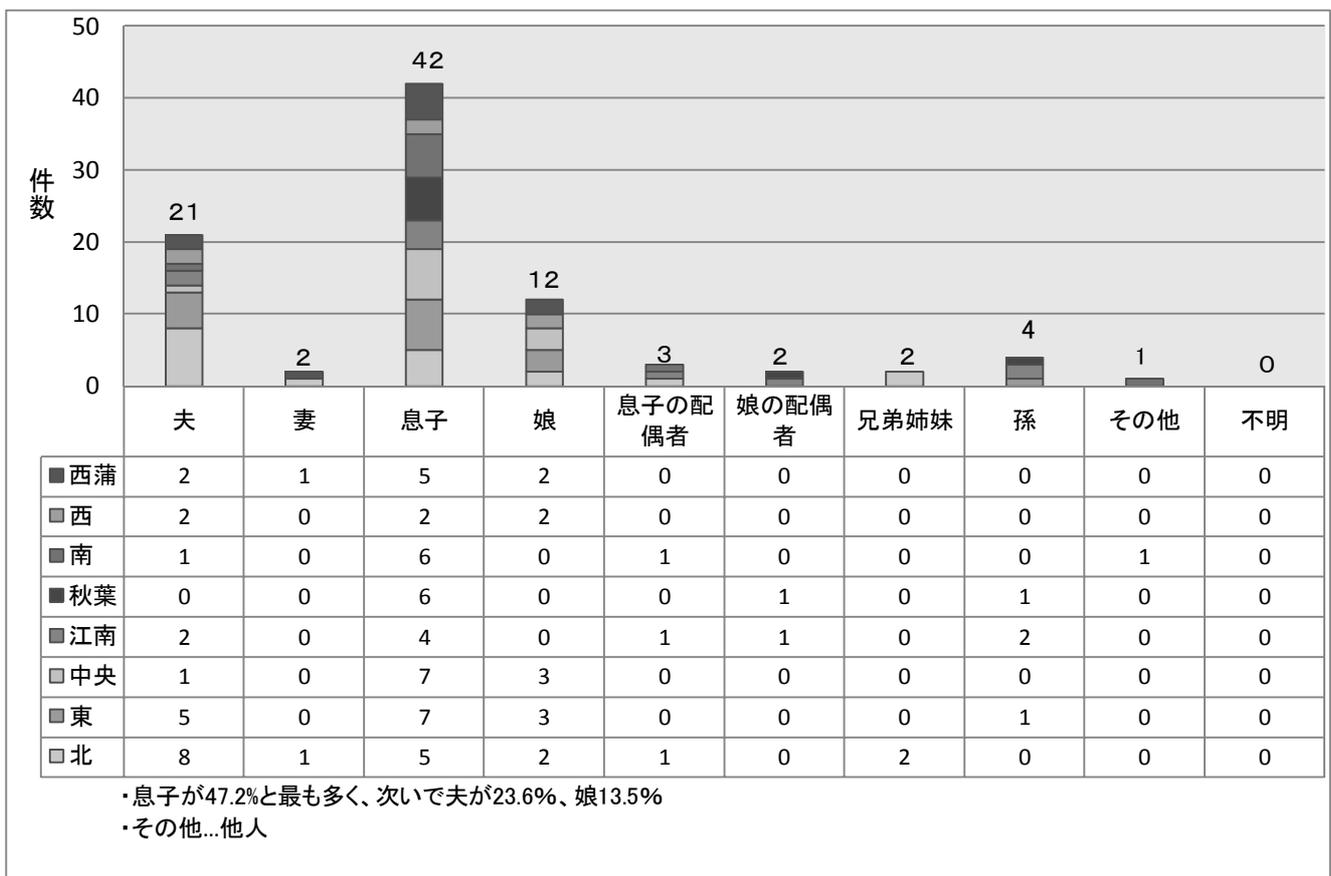
⑫世帯構成

n=87



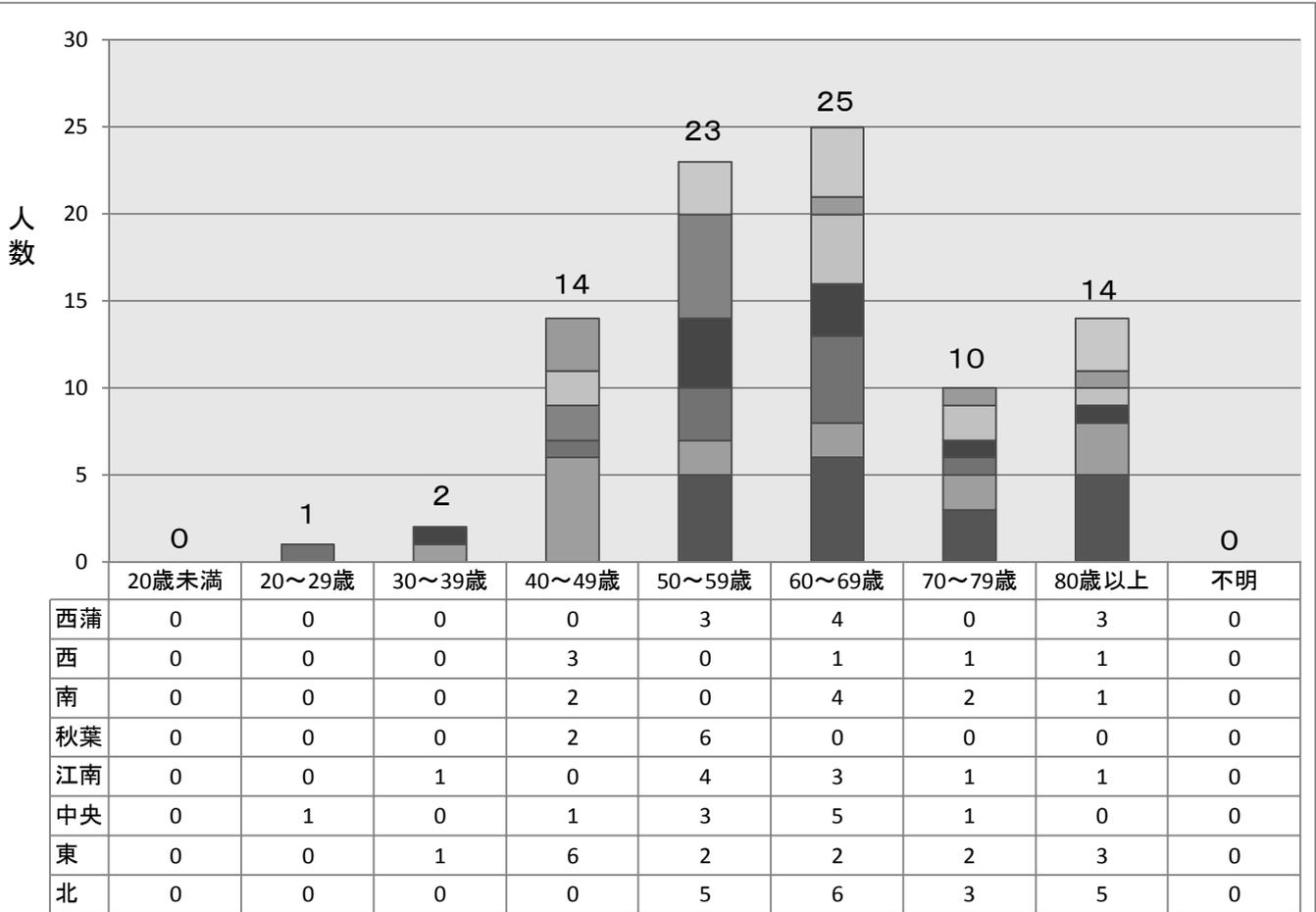
⑬養護者の続柄(複数回答)

n=89



⑭ 養護者の年齢

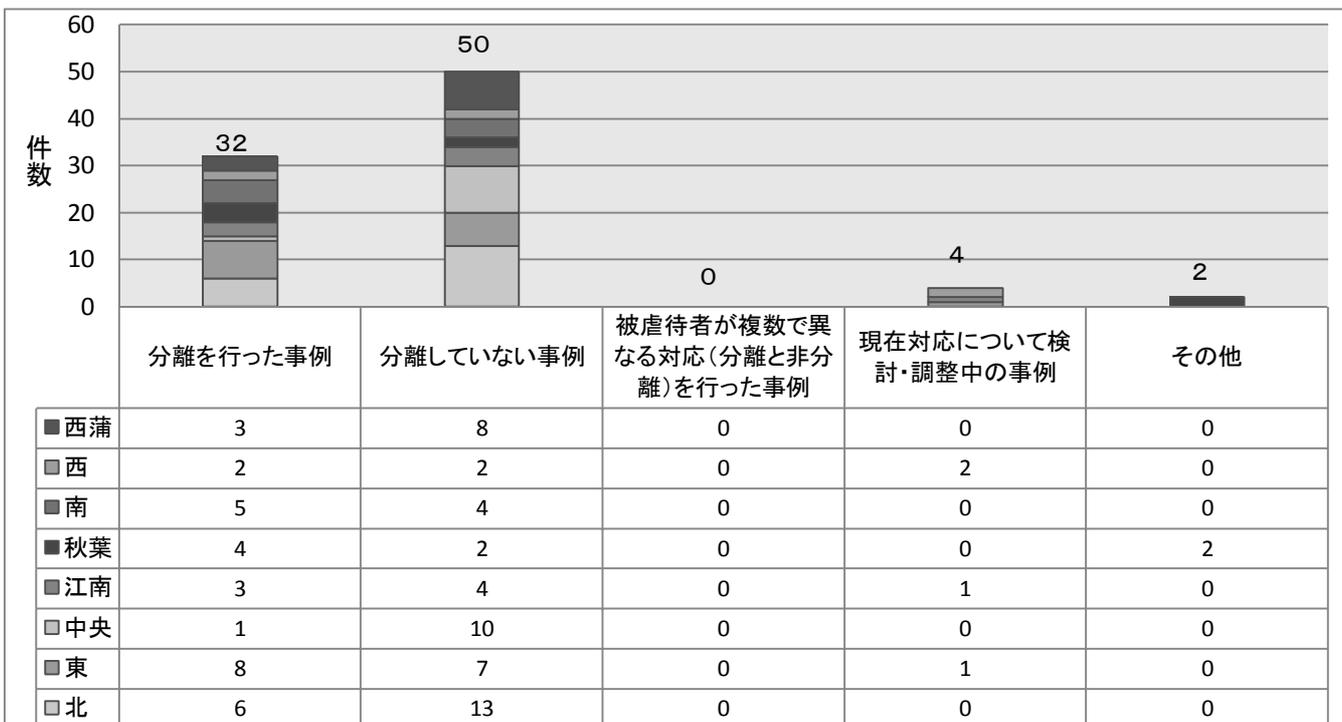
n=89



・60歳代が全体の28.1%と一番多く、次に50歳代が25.8%、40歳代・80歳以上が15.7%となっている。

⑮ 養護者との分離の有無

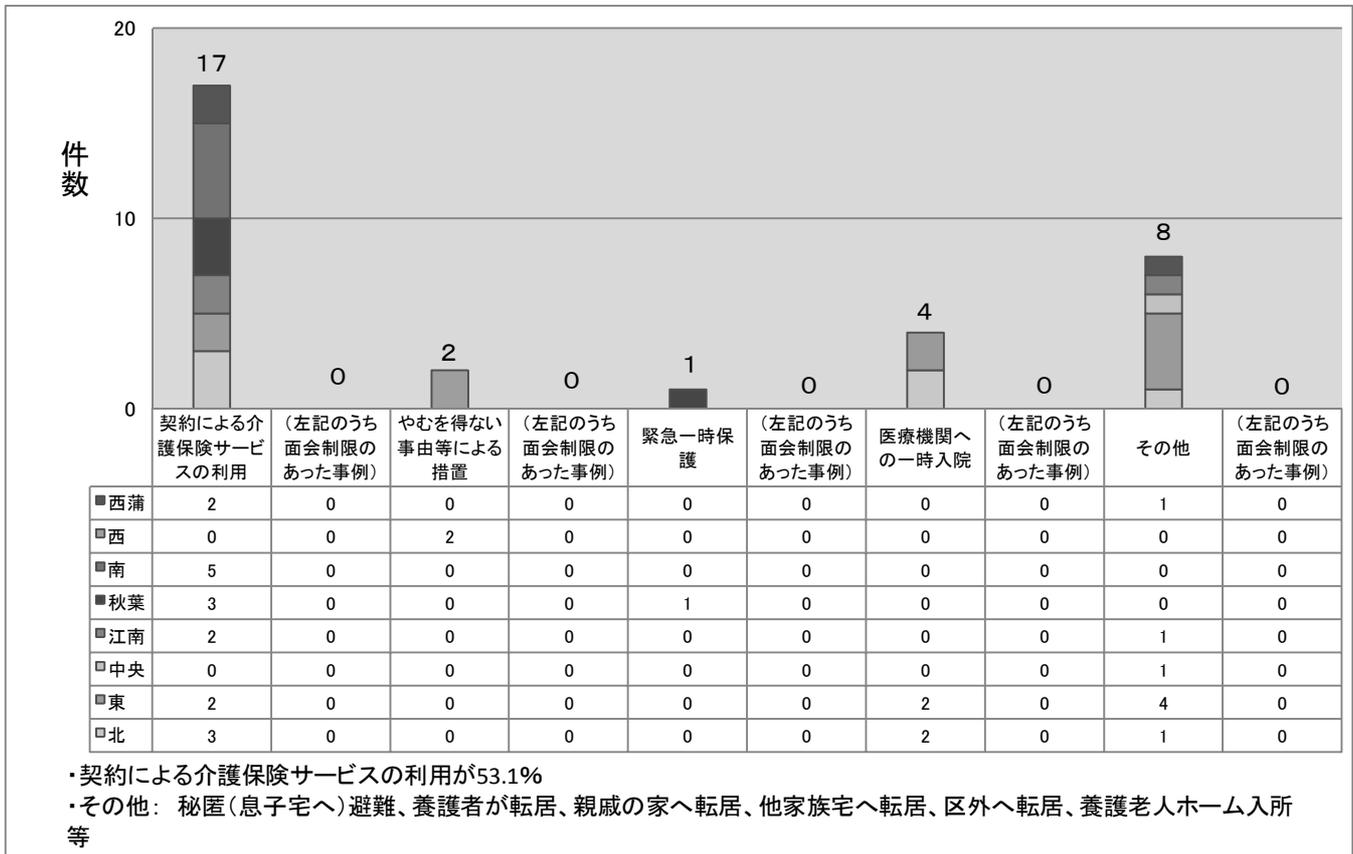
n=88



・虐待への対応として分離した事例が36.4%、分離をしていない事例が56.8%
 ・その他...入院中、既に有料老人ホーム入所

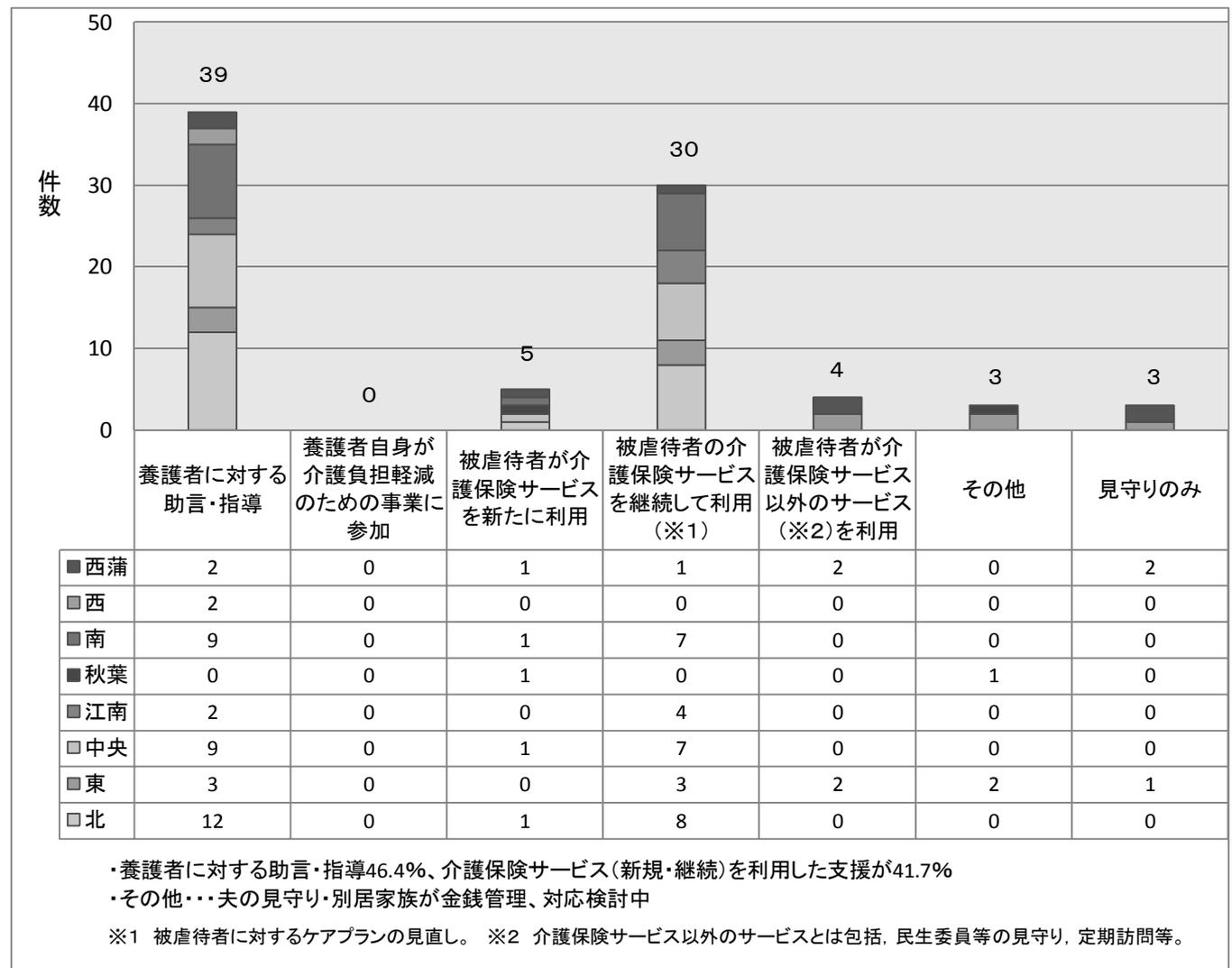
⑩分離を行った事例の対応の内訳

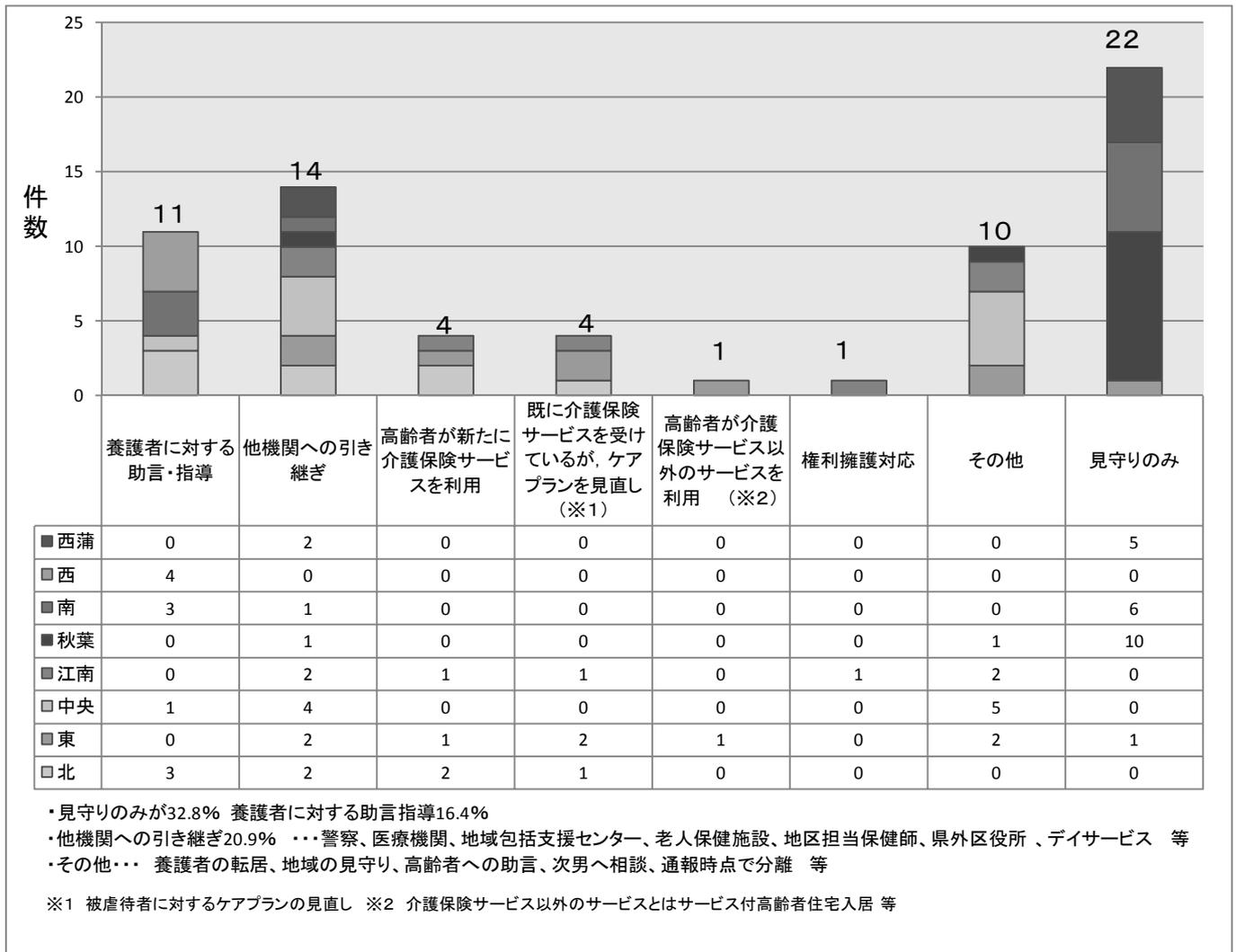
n=32



⑪分離していない事例の対応の内訳(見守りのみ以外複数回答)

n=84





⑲ 権利擁護に関する対応 (前年度以前からの継続ケースへの対応をn=4)

